



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月5日  
上場取引所 東

上場会社名 コムシスホールディングス株式会社  
 コード番号 1721 URL <https://www.comsys-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名)加賀谷 卓  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名)尾崎 秀彦 TEL 03-3448-7000  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	370,817	△1.1	22,624	6.9	23,832	7.3	16,786	16.1
2020年3月期第3四半期	374,769	23.2	21,158	7.1	22,219	8.7	14,459	△20.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 17,872百万円 (18.8%) 2020年3月期第3四半期 15,046百万円 (△7.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	132.77	132.50
2020年3月期第3四半期	112.60	112.30

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	446,935	316,325	70.0
2020年3月期	450,043	310,694	68.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 313,071百万円 2020年3月期 307,553百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	35.00	—	40.00	75.00
2021年3月期	—	40.00	—		
2021年3月期(予想)				45.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	560,000	△0.2	38,000	△2.4	38,500	△3.9	25,500	△1.9	201.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	141,000,000株	2020年3月期	141,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	15,038,066株	2020年3月期	14,164,947株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	126,426,841株	2020年3月期3Q	128,419,419株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあります。感染拡大防止と社会経済活動の両立を図るなか、一部に持ち直しの動きがみられるものの、国内外の感染拡大による影響や金融資本市場の変動等に注視する必要があると見込まれます。

コムシスグループを取り巻く事業環境におきましては、情報通信分野においては、社会のデジタル化・オンライン化に向けて、大容量の情報を遅滞なく安全・確実に流通させることができる高度な通信インフラ構築が求められており、5Gサービスの基地局設置や光ファイバ網の整備などが進められております。また、公共・民間分野においては、教育・医療・福祉分野におけるオンライン化へのニーズの高まりによるICT環境整備への投資拡大、激甚化・頻発化する自然災害に対応した防災・減災対策、道路・橋梁など公共インフラの老朽化対策、脱炭素社会の実現に向けた再生可能エネルギーの拡大など社会インフラ投資が期待されております。

コムシスグループといたしましては、5Gサービスの展開や高度無線環境整備推進事業の推進に対応するための施工体制を構築・強化し、また、バーチャルカンパニーを活用したグループ全体の営業連携により、GIGAスクールなどのITソリューション分野、太陽光・バイオマスなどの再生可能エネルギー分野への営業強化・事業領域の拡大を図ってまいりました。今後、「ニューノーマル」に向けた働き方改革をさらに推し進めると共に、デジタルトランスフォーメーション（DX）を要とした構造改革により、グループ全体の生産性向上に取り組んでまいります。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間につきましては、当初は、社会経済活動の低下による受注機会の減少や工期の延伸など新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、協力会社を含めた従業員の健康と感染防止策に努めながら事業活動を継続した結果、業績は徐々に回復してきております。その結果、受注高は前年の反動もあり、429,543百万円（前年同期比5.2%減）、売上高は370,817百万円（前年同期比1.1%減）となりました。また、損益につきましては、営業利益22,624百万円（前年同期比6.9%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は16,786百万円（前年同期比16.1%増）となりました。

【グループ別の受注高・売上高・セグメント利益〔営業利益〕】

(単位：百万円)

報告セグメント	受注高		売上高		セグメント利益 〔営業利益〕	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
日本コムシスグループ	210,818	△11.4%	180,205	△2.7%	10,972	6.0%
サンワコムシス エンジニアリンググループ	43,916	6.4%	38,128	△2.3%	3,544	△1.8%
TOSYSグループ	24,817	12.6%	20,364	18.8%	831	365.9%
つうけんグループ	41,981	5.3%	33,240	△1.1%	2,323	△0.4%
NDSグループ	59,763	△5.9%	56,147	△6.6%	2,411	△6.2%
SYSKENグループ	24,338	△9.0%	21,132	2.2%	800	97.2%
北陸電話工事グループ	12,473	13.9%	11,663	19.6%	372	58.2%
コムシス情報システムグループ	10,020	7.6%	8,522	5.9%	933	△6.6%

(注) 「受注高」及び「売上高」は外部顧客への取引高を記載しております。なお、「セグメント利益」は当社及びセグメント間取引により生じた利益を含んでおります。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形・完成工事未収入金等が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ3,107百万円減少し446,935百万円、負債は、支払手形・工事未払金等が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ8,738百万円減少し130,610百万円となっております。

また、純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加及び自己株式の取得などにより前連結会計年度末に比べ5,631百万円増加し、316,325百万円となりました。

この結果、自己資本比率は70.0%（前連結会計年度末は68.3%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、2020年5月13日に発表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	35,992	45,315
受取手形・完成工事未収入金等	177,267	136,333
未成工事支出金等	26,070	47,805
その他のたな卸資産	5,787	6,832
その他	12,097	16,311
貸倒引当金	△135	△155
流動資産合計	257,080	252,442
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	42,683	43,209
土地	67,285	67,891
その他（純額）	28,644	29,106
有形固定資産合計	138,612	140,207
無形固定資産		
のれん	3,902	3,338
その他	3,940	3,960
無形固定資産合計	7,842	7,298
投資その他の資産		
投資有価証券	26,084	23,646
その他	20,774	23,724
貸倒引当金	△352	△384
投資その他の資産合計	46,507	46,987
固定資産合計	192,962	194,493
資産合計	450,043	446,935

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	80,289	60,276
短期借入金	7,038	17,259
未払法人税等	5,318	2,012
未成工事受入金	5,097	9,180
引当金	963	942
その他	19,335	19,673
流動負債合計	118,042	109,344
固定負債		
長期借入金	1,107	732
再評価に係る繰延税金負債	1,315	1,315
退職給付に係る負債	14,123	14,443
役員退職慰労引当金	587	586
その他	4,173	4,188
固定負債合計	21,307	21,265
負債合計	139,349	130,610
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	92,203	92,497
利益剰余金	241,033	248,244
自己株式	△27,125	△30,187
株主資本合計	316,111	320,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,264	2,160
繰延ヘッジ損益	△12	△62
土地再評価差額金	△8,028	△8,028
退職給付に係る調整累計額	△1,780	△1,552
その他の包括利益累計額合計	△8,557	△7,482
新株予約権	652	748
非支配株主持分	2,487	2,506
純資産合計	310,694	316,325
負債純資産合計	450,043	446,935

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）
売上高	374,769	370,817
売上原価	327,520	323,334
売上総利益	47,249	47,482
販売費及び一般管理費	26,091	24,857
営業利益	21,158	22,624
営業外収益		
受取利息	20	17
受取配当金	707	1,131
固定資産賃貸料	256	216
その他	308	374
営業外収益合計	1,292	1,739
営業外費用		
支払利息	38	24
賃貸費用	134	116
新型コロナウイルス感染症関連費用	—	261
その他	57	130
営業外費用合計	231	532
経常利益	22,219	23,832
特別利益		
投資有価証券売却益	39	2,294
固定資産売却益	25	24
受取補償金	84	6
その他	20	384
特別利益合計	170	2,709
特別損失		
固定資産除却損	44	33
減損損失	—	711
特別退職金	80	54
その他	56	153
特別損失合計	180	952
税金等調整前四半期純利益	22,209	25,588
法人税等	7,634	8,801
四半期純利益	14,575	16,787
非支配株主に帰属する四半期純利益	115	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,459	16,786



（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）
四半期純利益	14,575	16,787
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	531	906
繰延ヘッジ損益	3	△50
退職給付に係る調整額	△64	228
その他の包括利益合計	470	1,085
四半期包括利益	15,046	17,872
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,923	17,860
非支配株主に係る四半期包括利益	123	11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結会計期間末における資本剰余金の残高は、前連結会計年度末より293百万円増加し、92,497百万円となっております。また、自己株式の残高は、前連結会計年度末より3,062百万円増加し、30,187百万円となっております。これらの主な要因は、以下のとおりであります。

① 株式交換

当社は2020年10月1日を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社、朝日設備工業株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を実施し、自己株式168千株を交付いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が156百万円増加し、自己株式が334百万円減少しております。

② 自己株式の取得

当社は2020年5月13日開催の取締役会の決議に基づき、2020年5月14日から2020年9月8日までの期間に自己株式981千株を取得しております。また、2020年11月6日開催の取締役会の決議に基づき、2020年11月9日から2020年12月31日までの期間に自己株式241千株を取得しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が3,751百万円増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算定しております。